



脳梗塞モデル動物の脳組織タンパク質の網羅的解析

～虚血性脳浮腫及び周辺部位病態におけるタンパク質レベルでの詳細解明～



研究シーズ概要

ヒトの脳塞栓症の急性期には、著明な脳浮腫と脳内血管の重篤な病変が見られます。また、脳梗塞の急性期に血流が再開すると脳浮腫が著しく増悪することもよく知られています。しかし、虚血の根本的な治療法は血流の再開と考えられるため、血流再開による脳浮腫の増悪の機序を解明することは治療法の確立において非常に重要です。この分野ではこれまで、急性の脳虚血巣における神経細胞死にフリーラジカルによる脂質過酸化が関与していることなどの研究が行われていますが、脳梗塞やその周辺部位の組織におけるタンパク質の変動については明らかにされていません。

そこで本研究では、ラットを用いて血流再開可能な脳梗塞モデルを作製し、虚血性脳浮腫及びその周辺部位の組織のタンパク質の網羅的解析に取り組みながら正常脳組織のタンパク質との比較を行っています。



利点・特長・成果

この研究によって、脳梗塞による虚血性脳浮腫及びその周辺部位の病態の詳細を、タンパク質レベルで解明することができます。この結果、新たな脳保護薬の設計に有用な情報を構築できると考えられます。



キーワード 脳梗塞モデル動物、神経細胞死

本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

知財活用	否	技術相談	否	共同研究	否
施設機器の利用	否	研究者の派遣	否	技術シーズ 水平展開	可

開発段階

5	第5段階	製品・サービス化(試売/量販)段階	2	第2段階	試作(ラボ実験レベル)段階
4	第4段階	ユーザー試用段階	1	第1段階	基礎研究・構想・設計段階
3	第3段階	試作(実証レベル)段階			

SDGsの目標

3 すべての人に
健康と福祉を

